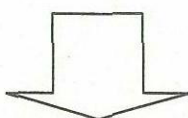


腎疾患対策検討会の検討範囲

CKDのステージ分類(CKD診療ガイドより)

ステージ	説明	進行度による分類 GFR mL/min/1.73m ²
	ハイリスク群(糖尿病、高血圧、メタボリック症候群、家族歴など)	≥90(CKDのリスクファクターを有する状態で)
1	腎障害は存在するが、GFRは正常または増加	≥90
2	腎障害が存在し、GFR軽度低下	60~89
3	GFR中等度低下	30~59
4	GFR高度低下	15~29
5	腎不全	<15

- ・ CKD 1-3期は自覚症状に乏しく、本人が気づいていないことが多い。
- ・ 他の疾患(糖尿病、高血圧など)で治療されていてもCKDは見逃されやすい。



腎機能に異常がみられた後に重症化を防止し、慢性腎不全による透析導入への進行を阻止することを目指す。

腎疾患対策検討会の検討事項（案）について

- 1) 一般国民に対する腎疾患に関する普及啓発
- 2) 医療提供体制（受診勧奨、かかりつけ医と専門医の連携等）
- 3) 診療水準の向上（ガイドラインの作成・普及等）
- 4) 人材育成（研修会・講習会の実施）
- 5) 研究開発の推進
- 6) その他

腎疾患対策検討会構成員名簿

飯野 靖彦	日本医科大学腎臓内科教授
内田 健夫	社団法人日本医師会常任理事
斎藤 明	東海大学医学部腎・代謝内科教授
椎葉 茂樹	富山県厚生部長
辻 一郎	東北大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野教授
寺岡 慧	東京女子医科大学腎臓外科教授
○菱田 明	浜松医科大学内科学第一講座教授
廣瀬 千也子	社団法人日本看護協会常任理事
松尾 清一	名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学講座腎臓内科学教授
松村 満美子	NPO 法人腎臓サポ一卜協会理事長
宮本 高宏	社団法人全国腎臓病協議会副会長

(○：座長)

(五十音順、敬称略)